

平成29年度 第3回健康づくり支援部会 議事録

日 時：平成29年11月28日（火）第1回帯広市健康生活支援審議会終了後
19時35分～20時20分

場 所：帯広市役所8階 教育委員会室

会議次第

1. 開会
2. 会議
 - (1) 前回会議の議事録（案）の確認
 - (2) 平成28年度 健康推進課決算について
 - (3) 平成28年度 保健事業について
 - (4) その他
3. 閉会

出席委員： 阿部厚憲委員、山本勝弘委員、金須俊雄委員
高橋きみ子専門委員、角谷巍啓専門委員、有岡秀専門委員

欠席委員： 吉村典子委員、高橋セツ子専門委員

事務局： 鳥本健康推進課長、野原健康推進課長補佐、佐伯裕一主任補

○事務局

平成29年度第3回健康づくり支援部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席は、健康づくり支援部会委員8名中、5名のご出席をいただいております、出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

角谷専門委員からは遅れて出席すると連絡を受けております。

それではこれよりの議事進行につきまして、阿部部会長によりしくお願いいたします。

○部会長

では、会議に入らせていただきます。

前回の議事録の確認についてですが、内容についてご意見あれば、発言いただければと思います。

○委員

5ページ下から2行目、クリニックには栄養士がいないと書かれています。どの程度の割合かはわかりませんが、私の知っているところでは栄養士がいますので、適切ではないと思います。

○部会長

そのような状況であれば、表現を変えた方がよいですね。栄養士がいらないほうが多いなど変

更しましょうか。

ほかになければ、一部修正を行った上で議事録は承認します。

続きまして、平成 28 年度健康推進課決算について議題といたします。事務局から報告お願いいたします。

○事務局

それでは、平成 28 年度健康推進課決算について説明させていただきます。資料 1 をご覧ください。

平成 28 年度の健康推進課に関わる総事業費は、12 億 672 万 6763 円でした。

内訳ですが、まず資料左側上、「保健衛生総務費」は決算額 3 億 6278 万 3901 円でした。

主な事業としまして、「保健衛生推進費」として健康まつりの運営費の負担、重度心身障害者歯科治療事業及び難病連十勝支部の事業への補助などのほか、「食・運動改善推進費」として食生活改善推進員と健康づくり推進員の養成及び育成を行っております。「公衆浴場対策費」としては、市内の公衆浴場の確保と活性化のための各種事業への補助を行っております。「訪問看護促進費」としては、北海道総合在宅ケア事業団の会費の支出を行っております。「健康増進センター管理費」としては、大正と川西の室内ゲートボール施設の運営管理を行っております。「高等看護学院運営分担金」として十勝管内 19 市町村で運営している高等看護学院の運営費、「看護師等養成機関確保対策費」として市内に 2 か所ある看護師養成機関に対する補助と歯科衛生士科開設支援としての帯広コア学園の校舎増改築費補助を行っております。また、「帯広厚生病院運営費補助事業費」として管内 19 市町村による帯広厚生病院の運営支援を行っております。「介護老人保健施設整備補助事業費」として平成 24 年度建設の市内の介護老人保健施設への補助などを実施しています。

次に「保健福祉センター費」は、決算額は 4265 万 7260 円でした。東 8 条南 13 丁目にある保健福祉センターの適切な管理運営に努めてまいりました。

続いて、資料の右側「予防費」です。決算額は 5 億 2274 万 8259 円でした。

主な事業は、「がん検診、健康診査費」として各種がん検診、市民健康診査、肝炎ウイルス検診の実施のほか、平成 28 年度から開始しました中学生に対するピロリ菌検査を行っております。「予防接種費」として平成 28 年度新たに定期接種となった日本脳炎、B 型肝炎を含む各種定期の予防接種を行っております。「感染症予防費」としては、65 歳以上の高齢者や中学 3 年生、高校 3 年生に対する季節性インフルエンザ予防接種を行っております。加えて、65 歳以上 5 歳刻みの高齢者に対する成人用肺炎球菌ワクチン予防接種やエキノコックス症検査を行っております。「結核予防費」として結核検診、「健康相談費」として保健師や栄養士のほか、心理相談員などの専門家による相談を行っております。「健康教育費」としては、各種健康講座、スマートライフプロジェクトの推進、ゲートキーパーの養成などの自殺対策事業などを行っております。「訪問保健指導費」として保健師の個別訪問による保健指導、「身体障害者体力向上事業費」として保健福祉センターでの身体障害者を対象にした身体機能向上を目的とするトレーニング事業などを実施しています。

最後に、「夜間急病診療費」は、決算額 2 億 7853 万 7343 円でした。

主な事業としましては、「休日夜間急病センター管理運営費」として指定管理による休日夜間急病センターの適切な管理運営を行っております。そのほか、「救急医療対策費」として二次救急

医療、休日歯科診療業務、急病テレホンセンターなどの運営委託、小児救急医療の補助を行いました。また、平成 27 年度より道東ドクターヘリに加入し、十勝圏域でドクターヘリが運航されています。

以上、平成 28 年度決算の概要でございます。

○部会長

皆様ご意見がある方はいらっしゃいますか。

○委員

公衆浴場の補助対象はどのような所になりますか。

○事務局

市内 12 か所の公衆浴場になっています。

○部会長

昨年度の実績と比較してみました。総事業費で 4600 万円ほど増えているのですが、各項目を具体的に見てみると、保健衛生総務費の公的精神科病院運営費補助事業費というのが増えている。これは去年なかったのですね。そのかわり、帯広厚生病院の運営費が減っている。この公的精神科病院の補助というのはどのようなものですか。

○事務局

この補助事業は、年度途中で補正予算を組んで支出をしたものになります。公的病院の補助、これは厚生病院を指しますが、この中の精神科への補助は平成 27 年度までは市町村、平成 28 年度からは都道府県の負担となっていました。しかし、平成 28 年度に限り市町村経由で補助金を支出すると北海道から指示があり、北海道から帯広市経由で補助金が支払われ、帯広市は北海道から 100%補助をもらっています。平成 29 年度からは北海道が直接補助をすることとなっています。

○部会長

北海道が支払うべきものが帯広市の会計に入っているのですか。

○事務局

はい、歳入と歳出同額で計上しています。本来帯広市分は 6000 万円程度ですが、道から指示があり本来北海道が直接支払うべきものを 19 市町村分、帯広市を経由して支払うことになりました。これは平成 28 年度に限った方法で、道内 3 厚生病院が同じような対応をとっています。

○部会長

公的病院とはどのような用件でしょうか。

○事務局

国公立の病院は除き、資格要件を満たしたところになります。厚生病院や協会病院、第一病院、北斗病院が帯広の場合に当てはまります。

○部会長

予防費に関して、がん検診の額が減っていますが、これは受診者の数が減ったということですか。

○事務局

そうですね。

○部会長

全体で増えているところはどこでしょうか。

○事務局

予防接種になります。新しいワクチンの接種が始まっていますので。

○部会長

夜間急病診療費で、救急医療対策費が前年度から半分程度になっています。これはどうしてでしょうか。

○事務局

二次救急に関する費用になりますが、平成 27 年度のみ増額させていただいています。平成 28 年度は以前と同じ水準になったということで、平成 26 年度並みの金額になっています。

平成 27 年度は、特別交付税 100%の補助がありましたので、待遇改善を目的に増額していましたが、同じような国の施策がない限り平成 28 年度の水準が継続することになります。

○部会長

ほかに意見がある方はいらっしゃいますか。

なければ、次の議題に移りたいと思います。平成 28 年度保健事業について議題とします。事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、平成 28 年度保健事業について説明させていただきます。資料 2 をご覧ください。

1 ページ目の「保健福祉センターの利用状況」についてです。(1)の事業等の利用状況ですが、表の一番下に記載しています合計数の利用者の推移を見ていただくと、平成 26 年度、27 年度に比べて、平成 28 年度は利用件数、利用者数ともに若干減少しております。事業の見直しや育児サークル等の使用減少などで利用が減っていることが主な要因となっています。(2)の各種相談の利用状況については、平成 26 年度、27 年度に比べ、こちらも利用件数が少なく

なっています。これは、少子化に伴う相談件数の減が主な要因ではないかと考えています。

次に、「感染症などの予防」についてです。(1) 予防接種の実施状況では、平成 28 年度 4 月から定期接種となりました日本脳炎ワクチンと平成 28 年 10 月から定期接種となりました B 型肝炎、平成 24 年 11 月からの三種混合から四種混合への変更が反映されております。ほかの予防接種については、例年通りの推移となっております。

次に、2 ページ目をご覧ください。(2) の結核検診の実施状況につきましては、検査の受診者数が増となっております。(3) インフルエンザ予防接種の状況ですが、中 3、高 3 と 65 歳以上の高齢者等に対して接種事業を実施し、実績は記載のとおりとなっております。(4) 成人用肺炎球菌予防接種は、平成 26 年度 10 月に開始となり 65 歳以上 5 歳刻みの年齢方を対象に実施しています。対象年齢がわかりづらいこと等から対象者へ個別に周知しています。実績は記載のとおりです。(5) のエキノコックス症検診の実施状況については、表に記載のとおりです。

次は、2 ページ目中段、「生活習慣病の予防」です。(1) 健康教育の実施状況では、働き盛りの人への健康づくりを進め、年々企業からの依頼が多くなっていて、回数は増加傾向となっております。(2) の健康づくり講座や教室では、表のと通りの事業を実施してきております。この中で、リラクゼーション事業効率化のための見直しと、台風の影響により利用者が減となっております。また、糖尿病重症化予防については、個別の保健指導に重点を置き見直しを行ったことにより、大幅な増となっております。

3 ページをご覧ください。(3) 健康相談、(4) 訪問指導、(5) 身体障害者体力向上トレーニング事業につきましては、記載のとおりです。訪問指導については、健診の事後の対策強化により訪問回数、人数ともに増加となっております。次に、(6) 検診の実施状況であります。各種がん検診は大腸がん以外の受診者は増加となっております。また、平成 28 年度からは中学 3 年生にピロリ菌検査を実施しています。(7) 市民健診・健康診査の保健指導は、記載のとおりです。(8) 健診事後指導については、訪問などによる保健指導に重点を置き、対象者の見直しを行ったため、減となっております。

最後に 4 ページをご覧ください。「自殺対策」については、平成 28 年度からフリーペーパーを活用したことにより、街頭啓発の人数が減となっております。また、研修会、講座等については、昨年度若年女性向け講座の対策強化を行うなど、回数の見直しを行ったことにより参加者数が増減しております。「救急医療体制に関する実施状況」ですが、本市では、夜間や休日等における医療不安の解消と急病者の発生に対処するため、休日夜間急病センター運営事業や、医療機関の協力を得て在宅当番医制や二次救急医療体制を確立しております。

平成 28 年度保健事業については、以上でございます。

○部会長

皆様、いかがでしょうか。

(角谷専門委員到着)

○委員

3 ページの (7) の保健指導は、対象者はもっと多いのですよね。対象者に対して保健指導を受ける割合はどの程度でしょうか。

○事務局

こちらは、市民健診のため 35～40 歳の年代の人や生活保護を受給している人たちの健診となります。上の表で 28 年度集団健診 50 名、施設健診 116 名の内、積極的支援の対象者は 15 名、動機づけ支援の対象者は 16 名になっています。

○委員

重症化予防の対策としては重要ですよ。対象者の方は若い年齢の方たちですよ。もっと積極的に行う必要があるのではないのでしょうか。生活保護の方であれば、健康であれば医療費もかからないでしょうし。

○事務局

なかなか忙しいとか、自分なりに行っているなど話される方が多いですね。

○部会長

これは次年度の課題としていきましょう。もう少し積極的な介入が必要だと感じます。

また、がん検診で大腸がん検診が減っているとなっていました。ちょっとショックです。大腸がんの検診は便の検査なのですが、人に対する侵襲が少なくてかなり感度が高いものなので、ぜひ受けてほしいのですけど。

○委員

生活習慣病の予防における健康教育の実施状況で企業・サークルの実施回数がかかなり伸びている。これは同じところに何回も行っているのですか。

○事務局

この点は、毎年行っている企業もありますが、新規の実施も増えている状況です。

○部会長

ほかに意見がある方はいらっしゃいますか。

○委員

二次救急協力医療機関の位置付けを確認したいのですが。

○事務局

一つの科目のみで対応している医療機関になります。開西病院や協立病院でしたら整形外科ですし、北斗病院でしたら脳外科になります。

○部会長

ここに関連して、急病テレホンセンターの案内状況の件数が減っています。これは今日の当番病院が分からないなどの意見を聞いています。自動応答では細かい対応ができず、人を 24

時間配置するのも難しい。今後、考えていかなければならないと思っています。

○委員

先ほどの健康教育の部分で、企業・サークルは一団体何名くらいでしょうか。

○事務局

人数は様々です。サークルでしたら 10 名程度、企業でしたら 50 名の所もあります。多くなると 100 名の所もあります。

○部会長

ほかに意見はありますか。

それでは、次の議題のその他は何かありますか。事務局からはいかがでしょう。

○事務局

特にありません。

○部会長

他になれば、これで、本日の議事を終了させていただきます。

○事務局

次回の健康づくり支援部会の日程であります。第 4 回の会議になります。12 月 26 日火曜日 20 時からを予定しております。帯広市健康生活支援審議会後の開催となることから、開始の時間が多少前後する場合もあるかと思えます。1 時間程度予定をしていますので、よろしくお願いいたします。本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。